

発行：東京民主医療機関連合会
北中ブロック城北地域診療圏協議会
編集：医療と健康のひろば編集委員会
〒174 8502 東京都板橋区小豆沢1 6 8
健康文化会内
電話03 5994 0271
ファックス同上(自動切替)

2007年12月 第100号

『医療と健康のひろば』は100号を迎えました。これからも医療や介護、暮らしをめぐる情報などをわかりやすく伝える機関紙づくりをめざします。

医療と健康のひろば

みんなで反対の声をあげ中止させよう

来年4月から始まる

「後期高齢者医療制度」



安心してかけられる医療制度に(本文とは直接関係ありません)

対象はどんな人?

現在、扶養家族にな

っている人も含め、全

ての七十五歳以上の

とあわせると一百万を

超えることになりま

す。東京は年間十

千九百円にきめられ

保険料はいくら?

これは

都道府県

によって

異なりま

す。厚生

労働の試

算では、

全国平均

で月額六

千二百円

(年間七

万四千

円)で介

護保険料

は、一年間支

合は「資格証明書」が

発行され、一年半では

たらどうなるの?

詳細はまだ出されて

いませんが、「定額制

包括払い」が検討され

ています。一ヶ月の限

度額が決められ、診療

回数や薬の内容が制限

される可能性もありま

す。さらに「かかりつけ

医」を登録し、受診の制

限も検討されています。

他の年齢の人にはどん

な負担があるの?

「一緒に運動しまし

台風一過青空の下

八百人が集まって

第25回桐ヶ丘健康まつり

10/28

桐ヶ丘健康友の会
石塚 有宏

前夜からの気詰まりな台風が去って、一面の青空の下、延べ八百人の方々が集まって、旧桐ヶ丘北小学校で『第二十五回桐ヶ丘健康まつり』が開かれまし

た。趣向を凝らしたいろいろな模擬店が立

ち並び、「医療相談コーナー」には、診療所の看護師さんや職員が総出で対応、署名コーナーにも熱い関心が寄せられました。

第一部の式典は、友の会・岩井会長や大坂所長の挨拶に続いて、来賓の健康文化会から手近な病院の例をあげて、「いま医療が危ない

現状のさなか、患者や高齢の方が安心して住んでいけるよう、地域医療を守っていきま

す」と話され、皆さんうなづいたり安堵したり。米寿の方々のお祝いも続いて行ないまし

た。今年はおそい秋とはいえ、すでに

に周りの銀杏にはまばらな黄色が

脇行く人々の視線を引

いていま

抽選会ではさらにあちこちに興奮を呼び、楽しい祭りが

終わりました。

今年はおそい秋とい

え、すでに

に周りの銀

杏にはまば

らな黄色が

脇行く人々の視線を引

いていま

抽選会では

さらにあち

こちに興奮

を呼び、楽

しい祭りが



会場全体で楽しむ



東京土建板橋支部のみこしでパレード

終日行動し、の

切実な要求掲げ 板橋怒りの総行動

十一月五日、板橋大橋区は国保証の取り上

運動実行委員会主催の「後期高齢者医療制度

第十五回「怒りの総行動」が行われました。

朝九時三十分の「後期高齢者医療制度」の

中止撤回を」・「板

学習会からはじ

まり、区役所を

囲んでの署名・

べ六百人が参加しまし

た。

午後に行われた区と

の懇談会には、八十名

が集まり、区の担当者

からの説明を受けまし

たが、国や広域連合が

決めたことをそのまま

板橋区で行うことのみ

が強調され、区として

の独自の施策などは、

何も決まっていな

紙芝居

「後期高齢者医療制度」第2弾

大変わかりやすいと好評です。

友の会の班会やその他の会合でもどことなく見て学習しましょう。中止・撤回を求める署名も周りの人に訴えましょう。

紙芝居についてのお問い合わせは各事業所または友の会まで。

高齢者を医療から遠ざける「後期高齢者医療制度」は凍結ではなく、あくまで中止・撤回させましょう!!

- 新たな後期高齢者医療制度は、中止・撤回すること。
- 70～74歳の窓口負担の2割への引上げを凍結ではなく中止すること。
- 医療にかかるときの手厚い人権を確保して、国民生活が安心して医療を受けられるよう努めます。
- 消費税は引き上げないこと。

練馬第一診療所健康友の会

班会を地域ごとに開催

『友の会拡大強化月間』で班活動を強化しています。幹事を中心にしながら、氷川台地域で新しく班を結成。さらに二つの班が班会を再開しました。

氷川台班

七名で新しく結成しました。後期高齢者医療制度について学習、看護師病気についての話や、健診結果の見方、の話がありました。



氷川台班

平和台二丁目班

久しぶりの班会でした。世代交代や地域の話が聞けました。



平和台2丁目班

薬局

だより

平和台薬局 薬剤師 齊藤恵美子

冬になると、あちらこちらでマスクをしている人をよく見かけるようになっています。

風邪をひいている場合はもちろん、風邪予防のためにマスクをしている方も多いのではないのでしょうか？ マスクの効果について風邪をひいている時



関わりも変化しました。チラシを手渡ししながら「今困っていること、お身体は大丈夫ですか？」など話しながらお誘いし、十六名が参加。会場は都営団地の集会所。診療所から関口事務長と看護師の林さんと長谷川さん。

家族の介護についての質問も出て、お互い交流ができた班会でした。 平和台二丁目班



平和台3丁目班

平和台三丁目班

七名参加で高齢者医療制度を学習。負担増で病院にも行けず、生活面を削らなければならぬ、高齢者は益々暮らしにくくなる切実さを感じました。

看護師の苅部さんからは「おいしい食べ物、現在の腹七分だそめよう」「明日から始めよう」「それは駄目よ、今日からよ」と大笑い。和やかな班会でも教えていただきました。(幹事 松下達子)

賑やかだった第23回総会(10/23)

坂下診療所健康友の会 副会長 新井 久子

さわやかな気候の中、蓮根地域センターで百三名の参加で開催しました。一年間の活動決算、来年度の方針案、予算案を報告し、幹事

入ってよかった友の会

悲しみから立ち直るきっかけに 遠藤笑子さん(小豆沢在住74歳)



遠藤笑子さんは今年二月ご主人の浩さんに病気で先立たれ、現在は一人暮らしです。ヘルニアの手術後、杖を使って十二名が選ばれました。再選の泉会長は、「幹事も高齢化してきています。いろいろな事に取り組みたくても難しい。皆さんの協力がどうしても必要です」と訴えました。九十歳の小松幹事が退任



踊りの輪をみんなで

踊り、練馬支部の華やかなフラダンス、大正琴、また全体参加のストレッチ体操は、サークルがかし班でした。『指の体操』これはなかなかできなくてがつくりする人も。新しくできたカラオケサークルさくら草の『ぼけな音頭』は曲につられて歌いだす人も。小豆沢病院健康友の会・小田 恵美子

伊豆下田温泉の旅(11/6-7)

小豆沢病院健康友の会 小田 恵美子

恒例の秋の一泊旅行は、三十九名の参加でした。毎年天気に恵まれていたのに今回の天気予報は「雨」、車いす参加の方もいらつしやるため、何とか晴れてくれればと祈る思いが通じたのか、参加者の日頃の行いがよかつたのか、二日間を通じ

明をたくさんしてくれました。皆さんの趣味の広さを改めて感じました。友の会が企画する旅行だから行けるの、と感謝され、車いすを押し手も心も軽やかになりました。「二十年ぶりに温泉に入れた！」と喜ばれるなど、支えあつて全員が温泉に入ることができました。楽しくなごやかな旅行でした。

